



平成 20 年 1 月 21 日

各 位

上場会社名 イーサポートリンク株式会社
(コード番号：2493 大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都豊島区高田二丁目 17 番 22 号
代 表 者 代表取締役社長 堀 内 信 介
問 合 せ 先 取締役社長室長 伊 藤 史 雄
電 話 番 号 (03)5979-0784
U R L <http://www.e-supportlink.com/>

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、この度、平成20年11月期～平成22年11月期を対象期間とする3ヵ年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、本中期経営計画の詳細に関しましては、2月1日に予定されている機関投資家向け決算説明会及び中期経営計画説明会終了後に、当社のホームページに掲載いたします。

記

1. 基本方針

当社では、生鮮流通の新しいスタンダードを目指して、長年の生鮮青果流通活動の経験から蓄積された独自のノウハウと、ビジネスプロセスアウトソーシングにより、生産者・中間流通業者・小売業者・生活者の全てをWIN-WINの関係にしていくということを基本的なビジネスコンセプトとして、企業運営をしてまいりました。

これからの3年間において、当社は、固い顧客基盤に支えられる「基幹ビジネス」に加え、大手量販店とその納入業者を対象とした「調達支援ビジネス」、国産青果物等の生産者・生産者グループを対象とした「販売支援ビジネス」の新たな事業展開に取り組み、企業価値の増大に邁進する所存です。

2. 重点施策

- ・ 「基幹ビジネス」において、更なるローコスト化・生産性向上を追及
近年の輸入青果物量の伸び悩みを勘案し、当社の取扱数量は減少するという前提としております。こうした中でコストダウンに鋭意努力し、安定的な利益の確保を目指します。
- ・ 生鮮MDシステム（「調達支援ビジネス」）の販売に注力
第2の事業と柱として、平成20年夏頃の運用開始を予定しております。今期は初期費用の影響で赤字となりますが、平成21年11月期以降の収益の柱として育成してまいります。スピードと集中を旗印に、全力で本事業を推進していく所存です。
- ・ 「販売支援ビジネス」における基礎固めを完了
(株)農業支援において、りんごの受託販売に加え、国産農産物のマーケティング事業等を平成20年11月

期に開始します。平成 22 年 11 月期の黒字化を達成するべく、体制の構築、成功事例の蓄積に注力してまいります。

- ・ コーポレートガバナンス、内部統制の充実
コンプライアンスはもちろんのこと、業務の効率性等も視野に入れたコーポレートガバナンスの強化を図ってまいります。

3. 数値目標

(連結)

(単位：百万円)

	平成20年 11月期計画	前年比 (%)	平成21年 11月期計画	前年比 (%)	平成22年 11月期計画	前年比 (%)
売上高	5,177	101.4	6,674	128.9	6,834	102.4
営業利益	32	-	969	-	1,093	112.8
経常利益	50	-	964	-	1,089	112.9
当期純利益	119	-	490	-	594	121.2

(事業別売上高及び営業利益)

(単位：百万円)

	平成20年11月期計画		平成21年11月期計画		平成22年11月期計画	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
基幹ビジネス	4,585	396	4,408	435	4,183	342
調達支援ビジネス	376	282	1,898	634	1,992	743
販売支援ビジネス	221	146	374	99	665	8

(注) 売上高は、連結相殺取引未考慮のため連結合計値と一致していない。

(個別)

(単位：百万円)

	平成20年 11月期計画	前年比 (%)	平成21年 11月期計画	前年比 (%)	平成22年 11月期計画	前年比 (%)
売上高	4,961	97.9	6,306	127.1	6,174	97.9
営業利益	113	26.5	1,068	940.7	1,084	101.5
経常利益	96	24.6	1,065	1,099.1	1,082	101.6
当期純利益	28	13.4	591	2,089.6	601	101.6

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上